

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すだちプレス		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに合わせた支援の実施 個別支援計画に基づき、子どもの特性や発達段階に応じた支援を行っている。保護者アンケートにおいても、子どもへの理解や支援内容について高い評価を得ている。	保護者との情報共有 連絡帳や送迎時の会話を通して、日々の子どもの様子を伝え、保護者との情報共有を行っている。	情報発信の強化 活動内容や事業所の取り組みについて、保護者へより分かりやすく伝えるため、通信や掲示等による情報発信の充実を図る。
2	安心して過ごせる環境づくり 活動スペースの確保や環境設定、衛生管理等を行い、子どもが安心して過ごせる環境づくりに努めている。また、子どもが通所を楽しみにしているという意見も多く見られた。	安全管理への取り組み 事故防止や安全確保のため、職員間で情報共有を行いながら支援を行っている。また、災害時の対応についても職員間で確認を行っている。	家族支援の充実 保護者やきょうだい児への支援について、今後情報提供や交流の機会を検討していく。
3	活動プログラムの工夫 体育館活動や制作活動など、子どもが楽しみながら参加できる活動を取り入れている。活動内容を繰り返し行うことで、安心して参加できる環境づくりを行っている。	活動の充実 子どもが主体的に参加できるよう、集団活動や個別活動を組み合わせながら支援を行っている。	地域との交流機会の検討 地域との交流や社会参加の機会について、今後実施方法を検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が少ないこと 地域の子どもや施設との交流機会が少なく、保護者からも「わからない」との回答が見られた。	取り組みを行っていても、保護者へ十分に伝わっていない	通信や掲示等による情報発信の強化
2	家族支援の周知不足 保護者向けの支援やきょうだい児への取り組みについて、十分に周知できていない可能性がある。	情報発信の機会が少ない	保護者への説明機会の充実
3	防災・安全対策の周知 避難訓練やマニュアル等について、保護者への周知が十分ではない部分がある。	地域交流の機会を作ることが難しい環境	防災訓練や安全対策の周知 地域交流の機会の検討